

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2022年3月28日から2032年3月10日まで	
運用方針	①グローバル株式に投資を行い、信託財産の成長を目指します。 ②外国投資証券においては、「サステナブル基準」に適合した銘柄に対して投資を行います。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	SOMPOエイゴン・グローバル・サステナブル株式ファンド	「Aegon Global Sustainable Equity Fund」および「マネー・ポートフォリオ・マザーファンド」
	Aegon Global Sustainable Equity Fund - Class J Japanese Yen (Accumulation) Unhedged	サステナブル基準に適合したグローバル株式
	マネー・ポートフォリオ・マザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	SOMPOエイゴン・グローバル・サステナブル株式ファンド	①投資証券への投資割合には制限を設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
	Aegon Global Sustainable Equity Fund - Class J Japanese Yen (Accumulation) Unhedged	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③為替ヘッジは行いません。 ④＜有価証券の発行者等に関するエクスポージャー＞原則として、1発行体10%以内 ⑤＜取引の相手方に対するエクスポージャー＞原則として、評価益ベースで5%以内
	マネー・ポートフォリオ・マザーファンド	①株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

SOMPOエイゴン・グローバル・サステナブル株式ファンド

第1期（決算日 2023年3月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SOMPOエイゴン・グローバル・サステナブル株式ファンド」は、このたび第1期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配率)	騰落率		債組入比率	債券組入比率	投資信託組入比率	純資産額
		税金	中期騰落率				
(設定日) 2022年3月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 10
1期(2023年3月10日)	8,859	0	△11.4	—	—	97.7	8

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託組入比率は「Aegon Global Sustainable Equity Fund」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、Aegon Global Sustainable Equity Fundの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券組入比率	投資信託組入比率	純資産額
		税金	騰落率				
(設定日) 2022年3月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 —
3月末	10,215	—	2.2	—	—	97.1	
4月末	9,084	—	△9.2	—	—	96.8	
5月末	8,750	—	△12.5	—	—	96.8	
6月末	8,470	—	△15.3	—	—	96.8	
7月末	8,946	—	△10.5	—	—	97.1	
8月末	9,037	—	△9.6	—	—	97.2	
9月末	8,322	—	△16.8	—	—	97.1	
10月末	8,554	—	△14.5	—	—	97.2	
11月末	8,706	—	△12.9	—	—	97.4	
12月末	8,074	—	△19.3	—	—	97.3	
2023年1月末	8,698	—	△13.0	—	—	97.6	
2月末	8,770	—	△12.3	—	—	97.7	
(期末) 2023年3月10日	8,859	—	△11.4	—	—	97.7	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託組入比率は「Aegon Global Sustainable Equity Fund」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、Aegon Global Sustainable Equity Fundの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、Aegon Global Sustainable Equity Fundの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

SOMPOエイゴン・グローバル・サステナブル株式ファンド

当期は、主要投資対象である「Aegon Global Sustainable Equity Fund」が下落したことから、当ファンドの基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

世界株式市場は下落しました。

米国におけるインフレ圧力の高まりや、FRB（米連邦準備理事会）による積極的な利上げ姿勢に対する警戒感などを背景に米国金利が上昇基調で推移したことや、中国における新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中国の主要都市が都市封鎖されたことなどから、世界株式市場は期初から下落基調で推移しました。2022年10月に入ると、12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）に向けて利上げペースの減速時期をめぐる議論が開始されるとの見方が広がり、その後、米国の軟調な経済指標発表などを受けて先行きの利上げ観測が後退し、米国金利が低下したことから、株式市場は反転上昇する展開となりました。

為替市場については、米ドルは、FRBによる追加利上げ観測の高まりなどを背景に、期前半にかけて対円で上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、「Aegon Global Sustainable Equity Fund」および「マネー・ポートフォリオ・マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。

原則として、Aegon Global Sustainable Equity Fundの組入比率を高位に維持しました。

Aegon Global Sustainable Equity Fund

当ファンドは、社会的に貢献するインパクトを発揮でき、かつ持続的に成長することが期待される銘柄に厳選して投資を行います。

当期は、テクノロジーや医学、法律など様々な業種の専門家に情報や分析ツールを提供するRELX（英国）、英語圏の大学への留学支援を世界的に行っているIDP Education（オーストラリア）などへ投資しました。

マネー・ポートフォリオ・マザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、Aegon Global Sustainable Equity Fundの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第1期 2022.3.28~2023.3.10
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

● 今後の運用方針

SOMPOエイゴン・グローバル・サステナブル株式ファンド

繰上償還に向けて「Aegon Global Sustainable Equity Fund」および「マネー・ポートフォリオ・マザーファンド」を解約し、資金化を進める方針です。

Aegon Global Sustainable Equity Fund

繰上償還に向けて保有する株式を売却し、資金化を進める方針です。

マネー・ポートフォリオ・マザーファンド

安全性、流動性の高いコール・ローン等短期金融資産による運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第1期 2022.3.28~2023.3.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	100円	1.133%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率(年率)× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,802円です。
(投信会社)	(32)	(0.367)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(65)	(0.734)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.031)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.009	(b)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(1)	(0.009)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	101	1.142	

注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

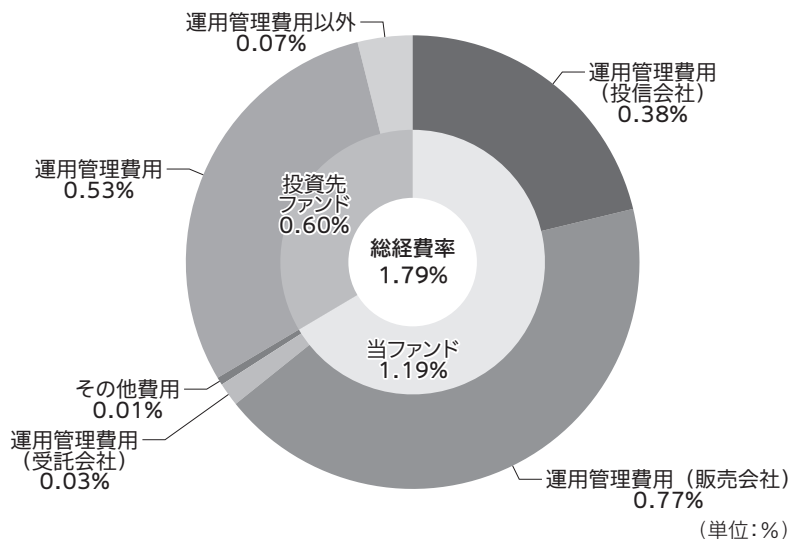
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.79%**です。



総経費率(①+②+③)	1.79
①当ファンドの費用の比率	1.19
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月28日～2023年3月10日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	Aegon Global Sustainable Equity Fund - Class J Japanese Yen (Accumulation) Unhedged	8,726	9,700千円	—	—千円

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・ポートフォリオ・マザーファンド	100千口	100千円	—千口	—千円

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月28日～2023年3月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年3月28日～2023年3月10日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 理 由
万円 1,000	万円 —	万円 —	万円 1,000	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2023年3月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		当 期 末		
		口 数	評 価 額	比 率
	Aegon Global Sustainable Equity Fund - Class J Japanese Yen (Accumulation) Unhedged	8,726	8,659千円	97.7%
合 計		8,726	8,659	97.7%

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
マネー・ポートフォリオ・マザーファンド		100	99

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年3月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,659	97.2
マネー・ポートフォリオ・マザーファンド	99	1.1
コール・ローン等、その他	146	1.7
投資信託財産総額	8,904	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	8,904,874	
コール・ローン等	145,690	
投資信託受益証券(評価額)	8,659,284	
マネー・ポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	99,900	
(B) 負債	45,746	
未払信託報酬	45,746	
(C) 純資産総額(A-B)	8,859,128	
元本	10,000,000	
次期繰越損益金	△ 1,140,872	
(D) 受益権総口数	10,000,000口	
1万口当たり基準価額(C/D)	8,859円	

(注1) 信託財産に係る期首元本額10,000,000円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額 0.8859円

(注3) 期末における元本の欠損金額 1,140,872円

○損益の状況 (2022年3月28日～2023年3月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 101	
支払利息	△ 101	
(B) 有価証券売買損益	△1,040,816	
売買損	△1,040,816	
(C) 信託報酬等	△ 99,955	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,140,872	
(E) 計(D)	△1,140,872	
(F) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(E+F)	△1,140,872	

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 分配金の計算過程(2022年3月28日～2023年3月10日)は以下の通りです。

項 目	2022年3月28日～ 2023年3月10日
a. 配当等収益(費用控除後)	0円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	0円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	0円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	0円
g. 分配金	0円

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	Aegon Global Sustainable Equity Fund - Class J Japanese Yen (Accumulation) Unhedged (エイゴン・グローバル・サステナブル・エクイティ・ファンド - クラス J 日本円 (アキュムレーション) 為替ヘッジなし)
形態	アイルランド籍投資法人 (円建て)
運用の基本方針	主として、「サステナブル基準」に適合したグローバル株式に投資を行い、信託財産の成長を目指します。
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③為替ヘッジは行いません。 ④<有価証券の発行者等に関するエクスポージャー> 原則として、発行体10%以内 ⑤<取引の相手方に対するエクスポージャー> 原則として、評価益ベースで5%以内
決算日	毎年10月31日
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.55% ※上記のほか、管理事務代行報酬、保管受託報酬、売買委託手数料、信託財産に関する租税等がかかります。
申込・解約手数料	ありません。
委託会社	エイゴン・アセット・マネジメント ユーケー ピーエルシー

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■主要投資対象の投資信託証券の状況

現時点で入手可能な直近の決算データが存在しないため、掲載していません。

マネー・ポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日 2022年7月25日）

〈計算期間 2021年7月27日～2022年7月25日〉

マネー・ポートフォリオ・マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限り、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日)	円		%		%	百万円
2019年7月31日	10,000	—	—	—	—	35
1期(2020年7月27日)	9,991	△0.1		—	—	291
2期(2021年7月26日)	9,982	△0.1		—	—	212
3期(2022年7月25日)	9,973	△0.1		—	—	83

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円		%		%
	2021年	7月26日	9,982		—		—
	7月末		9,982		0.0		—
	8月末		9,981		△0.0		—
	9月末		9,981		△0.0		—
	10月末		9,980		△0.0		—
	11月末		9,979		△0.0		—
	12月末		9,978		△0.0		—
	2022年	1月末	9,977		△0.1		—
	2月末		9,977		△0.1		—
	3月末		9,976		△0.1		—
	4月末		9,975		△0.1		—
	5月末		9,974		△0.1		—
	6月末		9,973		△0.1		—
	(期 末)						
	2022年	7月25日	9,973		△0.1		—

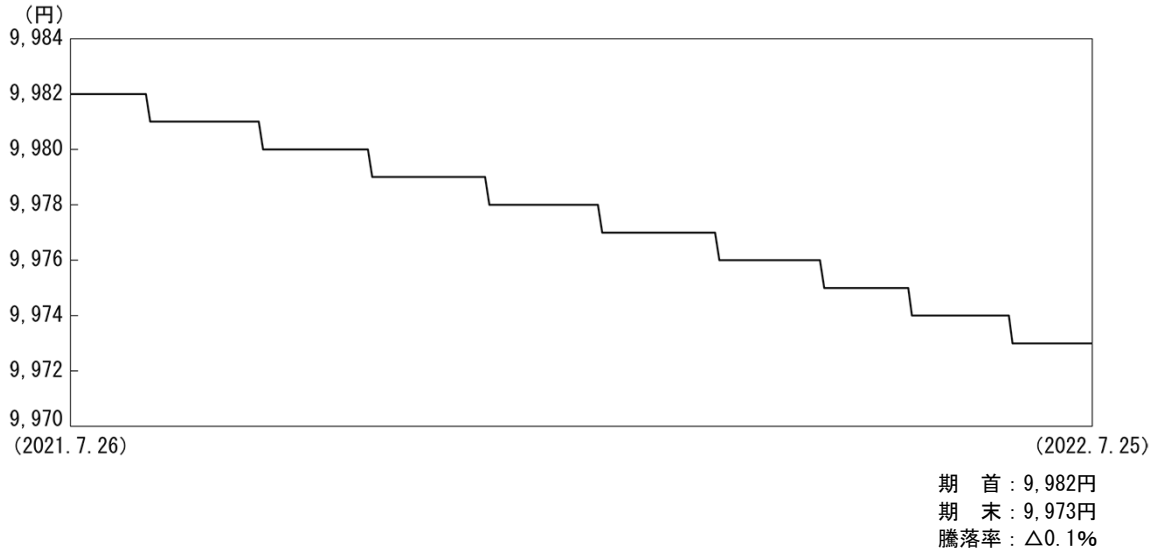
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2021年7月27日～2022年7月25日)

■基準価額の推移



■基準価額の変動要因

短期金融資産の利回りがマイナス圏で推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を小幅に下回りました。

■投資環境

日銀によるマイナス金利政策のもと、短期金融資産の利回りは期を通じてマイナス圏内で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

安全性、流動性の高いコール・ローン等短期金融資産による運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月27日～2022年7月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.003 (0.003)	(a)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	0	0.003	
期中の平均基準価額は9,977円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2021年7月27日～2022年7月25日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月27日～2022年7月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年7月25日現在)

2022年7月25日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年7月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 83,969	% 100.0
投資信託財産総額	83,969	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	83,969,091
コール・ローン等	83,969,091
(B) 負債	1,783
未払利息	253
その他未払費用	1,530
(C) 純資産総額(A-B)	83,967,308
元本	84,197,964
次期繰越損益金	△ 230,656
(D) 受益権総口数	84,197,964口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,973円

(注1) 信託財産に係る期首元本額212,868,937円、期中追加設定元本額27,172,967円、期中一部解約元本額155,843,940円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

東洋・中国A株ファンド「創新」	2019-07	13,026,712円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2019-08	5,332,641円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2019-09	11,626,472円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2019-10	7,329,868円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2019-11	7,872,987円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2019-12	10,527,380円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2020-01	13,254,849円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2020-02	9,831,064円
東洋・中国A株ファンド「創新」	2020-03	5,295,750円
SOMPOエイゴン・グローバル・サステナブル株式ファンド		100,241円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 0.9973円

(注4) 期末における元本の欠損金額 230,656円

○損益の状況 (2021年7月27日～2022年7月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△107,388
支払利息	△107,388
(B) 保管費用等	△ 3,893
(C) 当期損益金(A+B)	△111,281
(D) 前期繰越損益金	△380,348
(E) 追加信託差損益金	△ 62,967
(F) 解約差損益金	323,940
(G) 計(C+D+E+F)	△230,656
次期繰越損益金(G)	△230,656

(注1) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。